

# わたしたちの宝もの

# 「憲法」を探しに行こう!

## 暗黒島



## Kenpō! map

暗黒島の理不尽なひどい掟（おきて）。  
2羽のウサギ（リバラビ）といっしょに  
小窓をめくって、さまざまな権利を獲得しよう！  
そこには自由と平等が保障された  
幸福島があるはず。



### 天声人語でも 紹介されました

その教材を開くと地図が描いてある。独裁者が支配する「暗黒島（あんこくとう）」だ。ここには、とんでもない掟（おきて）がたくさんある。たとえば「何も言わず、だまって暮らせ」。こんなひどい生活から逃れるにはどうすればいいだろう、と先生が問う。答えは「表現の自由」を獲得すること。こうして子どもたちは、キャラクターのウサギと一緒に暗黒島を旅しながら、基本的人権という宝物を探していく。

自由や平等が奪われた状況を最初に見せることで、その大切さをのみ込みやすくしてある。物語じたての「憲法マップ」を作ったのは、弁護士で国学院大ロースクール教授の今井秀智（ひでのり）さん（53）だ。学校に出向いて法的なものの見方を教える民間団体「リーガルパーク」をひきいる。子どもでも手にとりやすい憲法の教材がなく、ならば自分たちで思い立った。昨年末にできあがり、先月は2度、都内の公立校で授業をした。「憲法は人々を守るものだとなりました」「人権は市民が勝ち取ってきたもの」ということに心を打たれました。中学1年生の感想だ。貴重な実践だと思う。憲法とはなにか、政界の改憲論者でさえ正しく理解しているかどうか。憲法とふつうの法律は違う。憲法とは変な法律や横暴な権力の見張り役なのだという基本すら、共有されていない。「私自身は憲法を変えるなどというつもりはありません」と今井さん。ただ変えるにしてもいまの憲法をもう一度読み、その価値を理解してからでも遅くはない、と。卓見だ。

（平成26年3月5日 朝日新聞・天声人語）

子どもでも手にとりやすい物語仕立ての「立憲主義」教材。  
まずは「憲法」に触れてみることから。 1冊 / 250円(税込)

製作：一般社団法人 リーガルパーク 〒105-0011 東京都渋谷区東3-25-3-203 監修：齋藤孝明治大学教授

